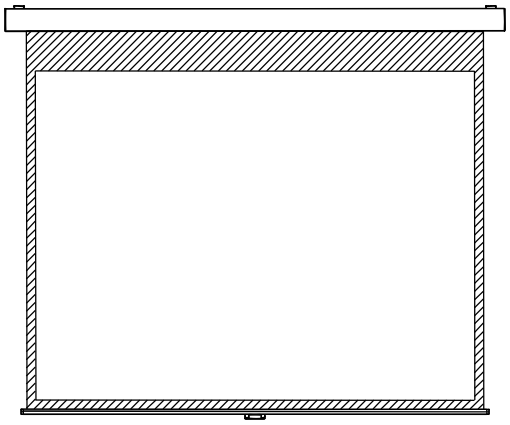
組立設置説明書



お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本機の取り付けには専門の技術が必要となりますので、販売店や施工業者に依頼してください。組み立てするにあたり、手袋・プラスドライバー・スパナ等を別途ご用意ください。その他の準備品は設置方法、設置環境に合わせてご用意ください。

施工業者様へ

お客様の安全のため設置場所の強度は、本機の荷重に耐えられるよう十分ご注意の上、設計施工をお願いいたします。設置場所の構造や強度は、設置環境により異なりますので、施工業者様が調査の上、最適な設置方法を選択し施工を行ってください。

●設置後は、この組立設置説明書と添付の取扱説明書および保証書を使用者（運用責任者）へお渡しください。

SMP-***HM-**/P セレクション

もくじ

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・2～3
付属品の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
製品質量と取付穴芯・・・・・・・・・・・・・・・4
製品の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
設置面の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
施工方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7～9
メンテナンスについて・・・・・・・・・・・・・10
FAQ（よくある質問）・・・・・・・・・・・・・・ 10
問い合わせ先(テクニカルサポートセンター)・・10

■　この組立設置説明書と取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
　　ご使用後は保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

安 全 上 の ご 注 意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

⚠ 警告

設置作業は必ず二人以上の作業者で行う

本製品の転倒、破損、及び搭載機器の破損を招く恐れがあります。
また、死亡または重傷などを負う可能性も有り大変危険です。

長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する

本機が落下し破損するだけでなく、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

ストーブなど熱源の近くで使用しない

スクリーンは火気に弱いので、焼損や火災の原因となり大変危険です。

製品及び部品の分解や修理・改造をしない

感電・ショート・火災の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

- 修理は、取扱店または当社までご相談ください。

スクリーンにぶら下がったり、物を掛けたりしない

本機の破損の原因となり、死亡または重傷を負う恐れがあり大変危険です。

スクリーンを無理に引き出さない

本機の破損や落下の原因となり大変危険です。

⚠注意

使用後は必ずスクリーンをケースに収納する
長時間引き出したままにすると、スクリーン生地品質低下の原因となります。

本機の動く範囲内に動きを妨げるものや、壊れやすいものを置かない
本機や置いたものが破損する原因になります。

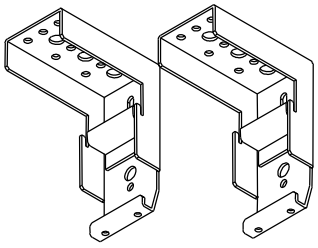
スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属等を近づけない
映写効果を損なうだけでなく、破損の原因になります。

STOPラベル位置以上にスクリーンを引き出さない
STOPラベルを超えてスクリーンを引き出すと、スクリーン生地が脱落する原因になります。

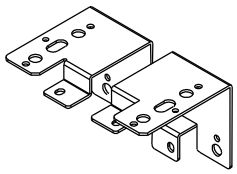
■　取り扱い上の不備、または天災等による事故・損傷について当社は責任を負いません。

付属品の確認

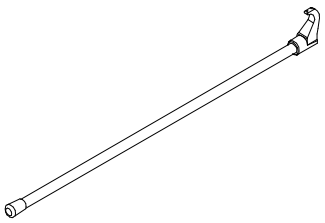
■設置の前に必ず確認してください。



スライディングブラケット×2



サイドブラケット　×2



フック棒　×1

ねじＡ
十字穴付き
トラスタッピンねじ
(4×40)×6



ねじＢ
十字穴付き
トラスタッピンねじ
(4×12)×4



製品質量と取付穴芯

■設置の前に必ず確認してください。

型式		生地	質量 (kg)	全長 (mm)	スライディングブラケット 取付穴芯(mm)	サイドブラケット 取付穴芯(mm)
SMP	080HM-*3	WG/BU202	15.9	2118	穴芯 1664±200（壁又は天井）	2059
	090HM-*3	WG/BU202	17.0	2339	穴芯 1885±200（壁又は天井）	2280
	100HM-*3	WG/BU202	18.1	2561	穴芯 2107±200（壁又は天井）	2502
	110HM-*3	WG/BU202	19.2	2782	穴芯 2328±200（壁又は天井）	2723
	120HM-*3	WG/BU202	20.3	3004	穴芯 2550±200（壁又は天井）	2945
	130HM-*2	WG/BU202	21.4	3225	穴芯 2771±200（壁又は天井）	3166
	140HM-*2	WG/BU202	22.4	3446	穴芯 2992±200（壁又は天井）	3387
	150HM-*2	WG/BU202	23.4	3668	穴芯 3214±200（壁又は天井）	3609

●スクリーンの設置には「ねじＡ」をご利用ください。
木材下地への設置を推奨しておりますので、それ以外の下地への設置の際には、
適切な部材をご利用のうえ、長期使用に耐え得る強度が保持できるよう施工をお願い致します。

設置の前に・・・設置上の留意点

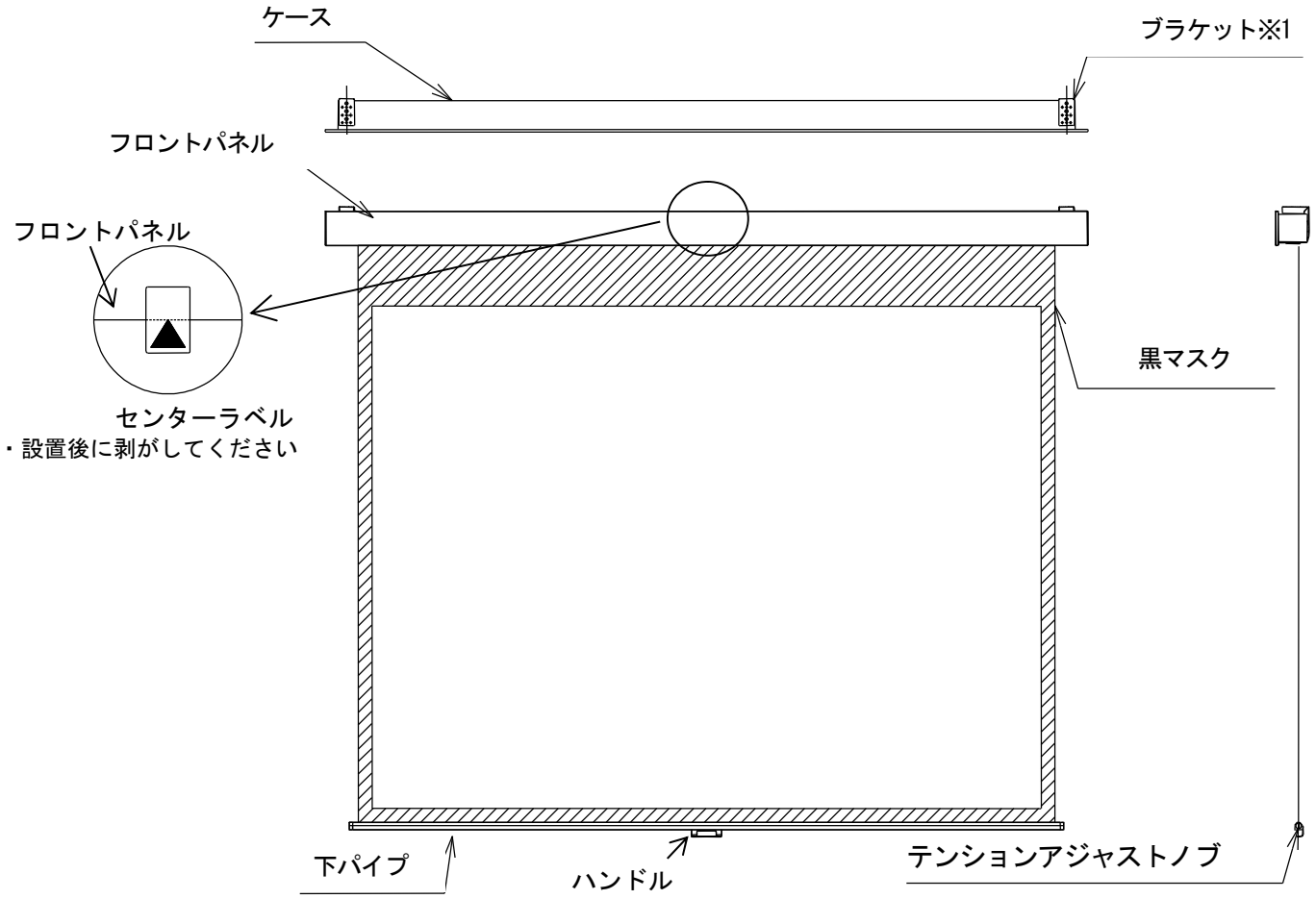
■ スクリーンの性能保障やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。
- ● 振動や衝撃の加わるおそれのある所
- ● 熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
- ● 暖房機器の風が当たる所

■ 設置場所の構造や材質に合った方法で設置をおこなってください。
■ 設置作業中に製品や床に傷が付かないようにやわらかい毛布や布を使い作業してください。
■ ねじ止めする時は、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。
■ 設置の際は、周辺の安全確保に十分な注意を払う。
■ 製品は必ず水平に取り付けてください。

⚠ 警告 本機の設置面は、スクリーン質量を長期間支える強度が必要です。設置面の強度が不足していると本機が脱落する原因になります。スクリーン質量は、『製品質量と取付穴芯』を参照ください。

製品の構成

〈全体図〉



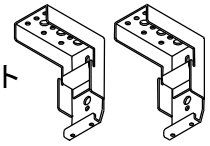
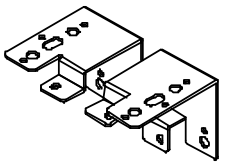
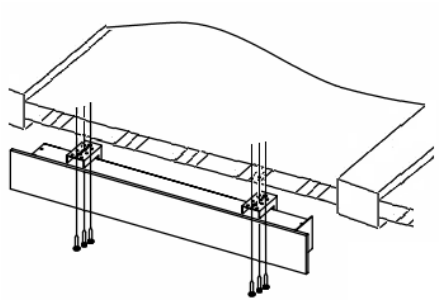
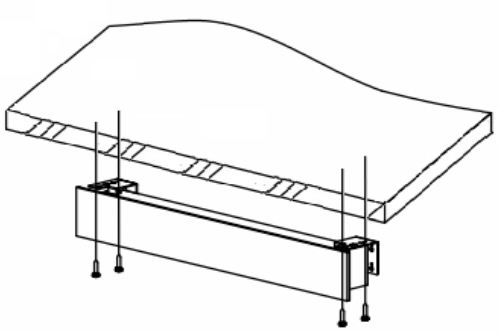
主材質：アルミニウム(フロントパネル、ケース、ローラー)/スチール(ケースキャップ他)/樹脂(キャップ類(ABS)、その他部品類(POM、PC))

※ 1 本図はスライディングブラケットを使用した設置例です。

設置面の確認

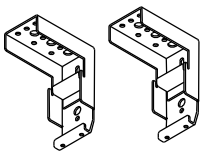
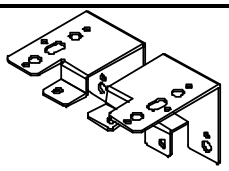
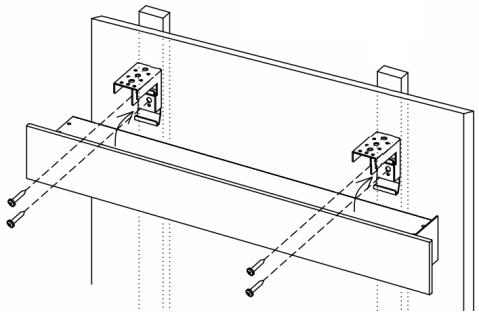
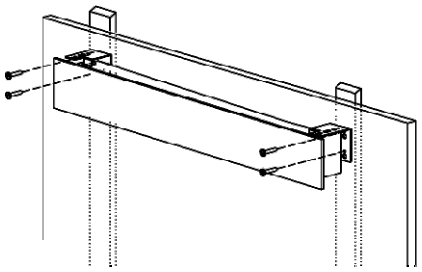
注)・設置には、スクリーン質量を長期間支える下地強度が必要です。スクリーン質量については、『製品質量と取付穴芯』を参照ください。
・下表は代表的な例です。この表に記載されていないものは設置環境にあわせて取り付けを行ってください。

天井設置の場合

金具 / 下地	スライディングブラケット 	サイドブラケット 
木材 厚み 25mm以上		

注)コンクリート面への設置の場合には、必ずアンカー/ボルトをご利用ください。

壁面設置の場合

金具 / 下地	スライディングブラケット 	サイドブラケット 
木材 厚み 25mm以上		

注) コンクリート面への設置の場合には、必ずアンカー/ボルトをご利用ください。

⚠注意 本製品の設置は、安全を考慮し原則として木材下地への設置を推奨しております。それ以外の下地への設置の際には長期使用に耐え得る強度が保持できるよう施工をお願いいたします。

● 弊社スライディングブラケットは、天井内ボルト設置位置を柔軟に決定可能です。
また、設置後のプロジェクター画角調整が、スクリーン側で取付ピッチ範囲内で左右調整可能です。

施工の流れ

施工の前に必ずお読みください。

⚠ 警 告

- **長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する**
- **設置作業は必ず二人以上の作業者で行う**
- **設置の際は、周辺の安全確保に十分注意を払う**
- **高所作業を行う場合は、足場の安定を確保し、保護具等を正しく装着の上、作業する**

＜フロントパネル嵌合確認＞

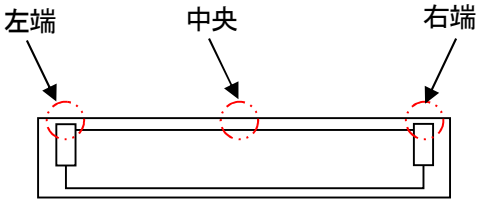
運送、設置時にフロントパネルが外れていないか確認をお願いします。
フロントパネルが外れているとフロントパネルが落下する恐れがあります。

※確認記録については別紙**＜電動/手動スクリーン　フロントパネル施工チェックシート＞**に合否記入してください。

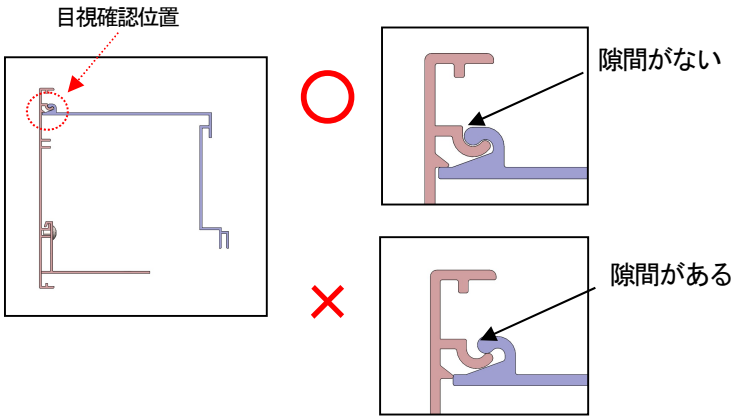
＜確認方法＞

設置前確認

フロントパネルとスクリーンケース嵌合部が外れていないか左端・中央・右端目視で確認をしてください。



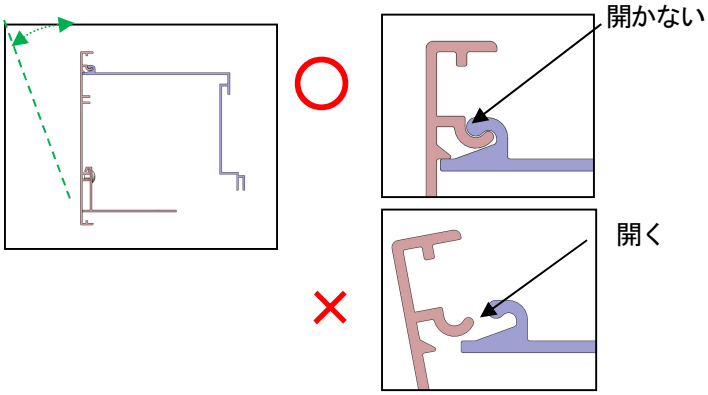
スクリーン背面



設置後確認

フロントパネルとスクリーンケース嵌合部が外れていないかフロントパネル上部を前後に動かしフロントパネルが開かないことを確認してください。

※作業時は周りに人がいないことを確認の上、作業を行ってください。フロントパネルが落下した場合、事故になる可能性があり危険です。



異常を感じた場合はフロントパネルの付け直し作業を行ってください。
作業手順については『フロントパネル取付手順』を参照ください。

※作業がやりにくい場合は、安全の為スクリーンを取り外しフロントパネルを上に向けフロアに置いて作業を行ってください。

＜持ち運び時の注意＞

製品を持って移動する際は、フロントパネルを持ったり、スクリーンケースをねじるなどの負荷を与えないでください。製品の変形や、フロントパネルが外れて落下する恐れがあります。

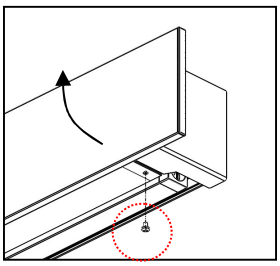
＜フロントパネル取付手順＞

フロントパネル外れが確認された場合、安全に配慮の上、下記手順に沿って修正作業を行ってください。

※確認記録については別紙＜電動/手動スクリーン　フロントパネル脱着時チェックシート＞に合否記入してください。

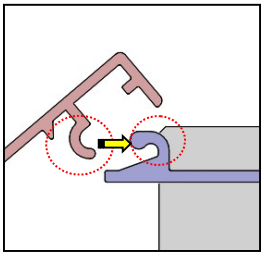
①フロントパネルの外し方

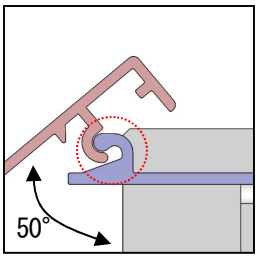
ねじ 2 本を外しフロントパネルを持ち上げ外す。
嵌合部にごみの混入、傷が無いことを目視で確認してください。



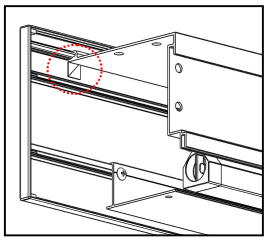
②フロントパネルの取り付け

落下防止ワイヤーの固定ねじ（フロントパネル：左右各 1 箇所　スクリーン本体：左右各 1 箇所　計 4 箇所）に緩みがないか、増し締めを行い確認後、フロントパネルを約 50° 傾けフロントパネルガイド部をスクリーンケースガイド部に合わせます。

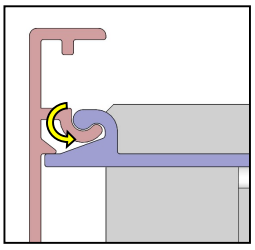




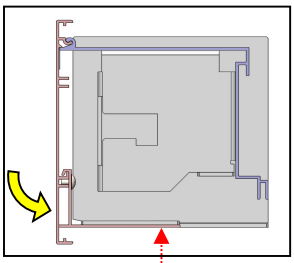
フロントパネル背面にあるパネル位置ラベルをスクリーンケース端と合わせ



合わせたガイド部を支点にフロントパネルをスクリーンケース側へ押し込みねじ穴を合わせます。
押し込む際は、ガイドに沿って入るようフロントパネルガイド部をスクリーンケースガイド部に押し当ててください。



つき合わせて回転

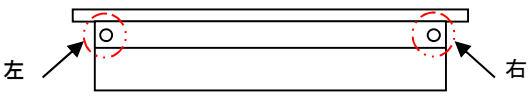


ねじ穴位置

③ねじ固定

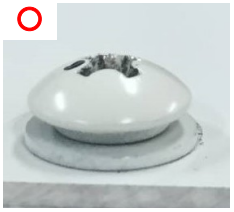
取り外した 2 本のねじを使いフロントパネルを確実に固定します。

※ねじは、右図「〇」の状態まで締め込み、1/2 周増し締めしてください。（締付完了後の状態が右図の状態になっていることを確認してください）



スクリーン底面

〇

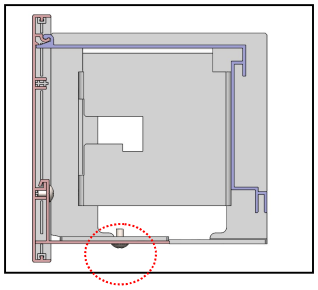


×



締付完了時

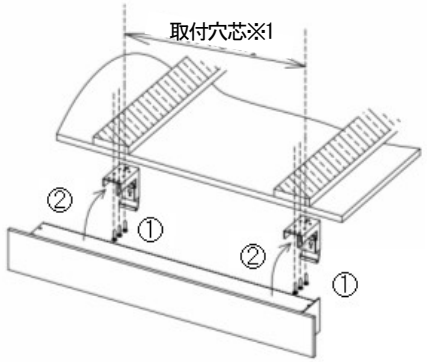
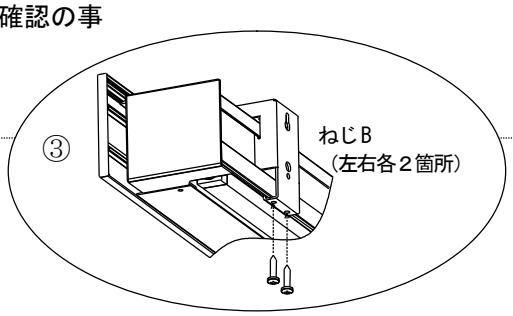
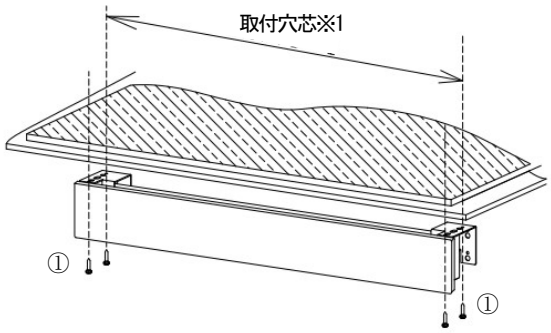
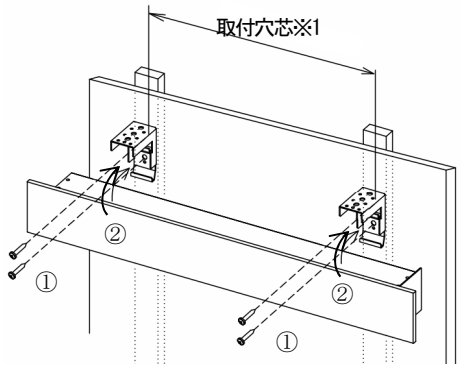
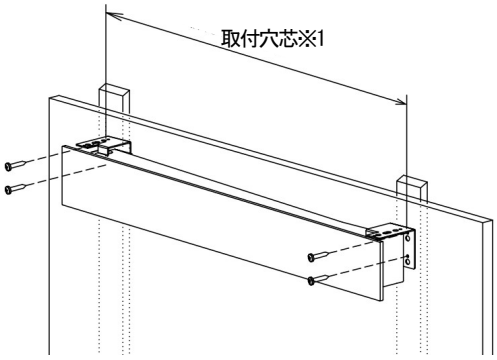




④嵌合確認

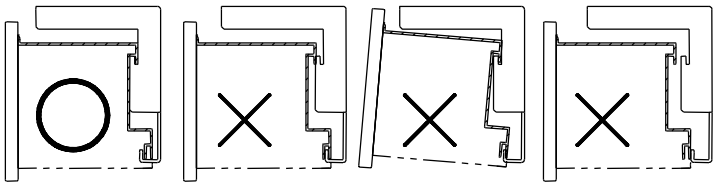
フロントパネル取り付け後、勘合確認を行ってください。
確認手順については『フロントパネル嵌合確認』を参照ください。

再設置の際パネルを持たず、スクリーンケースを持って、ねじれないように持ち運び設置してください。

	スライディングブラケット	サイドブラケット
天井設置（木材下地）	 ねじA(左右各3箇所)ツメがかかっているか必ず確認の事 	 ねじA(左右各2箇所)
壁面設置（木材下地）	 ねじA(左右各2箇所) ツメがかかっているか必ず確認の事	 ねじA(左右各2箇所)

注）・コンクリート面への設置の場合には、必ずアンカー/ボルトをご利用ください。
・付属品以外の必要工具、部材は別途ご用意ください。
※1 取付穴芯寸法は『製品質量と取付穴芯』を参照ください。

● スライディングブラケットの注意点
スライディングブラケットにスクリーンを乗せる際、下図のようにスライディングブラケットのツメをケースの溝に必ずかけてください。また、目視にて確認できるまで手を離さないようご注意ください。



メンテナンスについて

■本機はスクリーン生地が傷んだ際、スクリーン生地のみを交換することができます。
スクリーン生地交換については、販売店又は下記テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください。
詳細な交換方法は、交換用スクリーンに付属の説明書を参照ください。

FAQ(よくある質問)

症状	チェック	処置
スクリーン映写面が斜めになる	スクリーンは水平に取り付けられていますか？	もう一度設置位置を確認してください。

製造販売元　株式会社オーエスエム

連絡先:株式会社オーエス テクニカルサポートセンター
〒557-0063 大阪市西成区南津守 6-5-53
TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496
(受付時間:平日 9:00～17:50 ※土日祝祭日を除く)
E-mail : info@os-worldwide.com